

令和5年度 北海道大学低温科学研究所 研究集会

日時：2024年1月18～19日（木-金）13:00～19:00（初日）、9:00～16:10（二日目）

課題名：氷河氷床変動の精緻な理解に向けた現地観測-衛星観測-数値モデルの連携

現地会場：低温科学研究所 3階講堂

低温研までのアクセス：<https://www2.lowtem.hokudai.ac.jp/about.html#5>

プログラム

一日目（1月18日）

13:00～13:10 開会の挨拶、趣旨説明、事務連絡

大沼友貴彦（宇宙航空研究開発機構）、杉山慎（北海道大学低温科学研究所）

観測手法・物理1（13:10～14:30, 司会：江刺和音）

13:10～13:30 雪氷リモートセンシング・ハッカソン in 北大低温研の報告

永井裕人（立正大学）

13:30～13:50 モンゴル、ポターニン氷河の観測について

坂井亜規子（名古屋大学）

13:50～14:10 ネパール・ヒマラヤ、ロールワリン氷河観測の報告

江刺和音（名古屋大学）

14:10～14:30 航空機搭載氷厚探査レーダーの国産化に向けたプロトタイプの開発状況

橋本大志（国立極地研究所）

14:30～14:45 休憩

観測手法・物理2（14:45～16:05, 司会：大川翔太郎）

14:45～15:05 グリーンランド北西部カナック氷河における氷レーダ探査

佐藤健（北海道大学）

15:05～15:25 地中レーダーを用いたグリーンランド氷床南東ドームにおける涵養量の時空間変動復元

坂田宙斗（北海道大学）

15:25～15:45 地震計と UAV によるカービングフラックスの推定

小川隼輝（名古屋大学）

15:45～16:05 東南極白瀬氷河における冰山座礁の流動速度への影響

大川翔太郎（総合研究大学院大学）

16:05～16:20 休憩

生物・化学（16:20～18:00, 司会：小林綺乃）

16:20～16:40 雪氷藻類の光学特性の推定

對馬あかね（千葉大学）

- 16:40-17:00 アラスカ, グルカナ氷河上の赤雪, 着色氷の色素構成
薄羽珠ノ介 (千葉大学)
- 17:00-17:20 アラスカ州グルカナ氷河の積雪における窒素栄養状態
小野誠仁 (千葉大学)
- 17:20-17:40 雪氷藻類に寄生するツボカビ
小林綺乃 (千葉大学)
- 17:40-18:00 休憩

特別セミナー (18:00-19:00, 司会: 杉山慎)

- 18:00-18:30 Sedimentation provides stability during early stages of tidewater glacier retreat, Taku Glacier, Alaska
Jason Amundson (University of Alaska)
<https://uas.alaska.edu/dir/jmamundson.html>
- 18:30-19:00 The influence of subglacial topography and geology on ice-sheet flow and retreat from deglaciated landscapes
Lauren Miller (University of Virginia)
<https://evsc.as.virginia.edu/people/profile/lmiller>

19:00-懇親会 (低温研内での立食形式)

二日目 (1月19日)

気象・水文1 (9:00-10:20, 司会: 今津拓郎)

- 9:00-9:20 グリーンランド北西部 SIGMA-A,B サイトにおける 2012-2020 年のデータセット
西村基志 (国立極地研究所)
- 9:20-9:40 グリーンランド北西部カナック氷河における氷河変動の再現及び将来予測
今津拓郎 (北海道大学)
- 9:40-10:00 氷河熱収支でクリオコナイトホールの深さ変化を再現する数値モデル CryHo
大沼友貴彦 (宇宙航空研究開発機構)
- 10:00-10:20 Ice discharge from the marine-terminating outlet glaciers along the coast of Prudhoe land, northwestern Greenland
Wang Yefan (北海道大学)
- 10:20-10:35 休憩

気象・水文2, 地形・凍土1 (10:35-11:35, 司会: 西村基志)

- 10:35-10:55 ネパール・ロールワリン領域を対象とする数値気象実験
橋本明弘 (気象研究所)
- 10:55-11:15 River runoff in Western Mongolia
Khalzan Purevdagva (モンゴル気象・水文・環境情報研究所)

11:15-11:35 LiDAR ドローンを用いた立山の氷河雪渓観測
福井幸太郎（富山県立山カルデラ砂防博物館）

11:35-12:50 休憩

地形・凍土 2（12:50-14:10, 司会：有江賢志朗）

12:50-13:10 グリーンランド北西部カナック氷河における UAV を用いた表面地形測量
鵜飼真汰（北海道大学）

13:10-13:30 グリーンランド北西部カナック氷河でのドローン調査による地表の標高変化と氷河上流の発達の研究
山田宙昂（北海道大学）

13:30-13:50 Surface elevation change on Taku glacier in Southeast Alaska from 2014 to 2021
張佳晏（北海道大学）

13:50-14:10 SAR 後方散乱データを使用した氷河平衡線高度の観測
有江賢志朗（宇宙航空研究開発機構）

14:10-14:25 休憩

地形・凍土 3（14:25-15:45, 司会：柳谷一輝）

14:25-14:45 マルチビームソナーによるパタゴニア・グレイ氷河の末端水中形状の観測
杉山慎（北海道大学）

14:45-15:05 アラスカの山岳氷河における GHG 観測
紺屋恵子（海洋研究開発機構）

15:05-15:25 ユーコン準州ビーバークリーク周辺の急速的永久凍土融解
柳谷一輝（宇宙航空研究開発機構）

15:25-15:45 永久凍土帯における地表面変位とその凍土学的解釈：衛星観測と現地観測の統合に向けて
阿部隆博（三重大学）

15:45-16:00 総合討論（司会：大沼友貴彦）

16:00-16:10 閉会の挨拶

杉山慎（北海道大学低温科学研究所）